

彙 報

会長 国 広 哲 弥

昭和 62 年度第 1 回常任委員会

日 時：4 月 25 日（土）午後 1 時 30 分～4 時

場 所：三省堂内 言語学会事務局

出席者：国広哲弥（会長），荻野綱男，田村すす子，長谷川欣佑，峰岸真琴
（以上，常任委員），菊地康人（常任委員・事務局長）。小泉 保（編集委員長），奥津敬一郎（会計監査委員，第 94 回大会運
営委員長），松本克己（会計監査委員）。

議事ならびに報告：

- （1）昭和 61 年度決算報告。
- （2）昭和 62 年度予算案。
- （3）第 94 回大会について（研究発表者の選定，プログラムの決定）。

昭和 62 年度第 1 回委員会

日 時：6 月 6 日（土）午前 10 時～午後 1 時

場 所：日本女子大学 泉山館 2 階 第三会議室

出席者：国広哲弥（会長），池上二良，石綿敏雄，井出祥子，井上和子，井上
史雄，梅田博之，大東百合子，笥 壽雄，小泉 保，近藤達夫，崎山
理，佐藤昭裕，清水克正，下宮忠雄，庄垣内正弘，竹内和夫，田中克
彦，田村すす子，角田太作，徳川宗賢，徳永康元，長嶋善郎，奈良
毅，西田龍雄，野元菊雄，平山輝男，堀井令以知，前田富祺，宮島達
夫，村木正武，村山七郎，薮 司郎，湯川恭敏（以上 34 名）。

委任状：26 名。

オブザーバー：奥津敬一郎（会計監査委員，大会運営委員長），荻野綱男，町田
健，峰岸真琴（以上，常任委員），菊地康人（常任委員・事務局長）。

議事ならびに報告：

- (1) 昭和 61 年度決算報告が承認された(別表 1 参照)。4 月 25 日に会計監査委員奥津敬一郎, 松本克己両氏により適正と認められたものである。
- (2) 昭和 62 年度の予算が審議され, 承認された(別表 2 参照)。
- (3) 日本学術会議第 14 期会員候補者および推薦人の選出方法について審議が行われた。
- (4) 昭和 62 年度秋季大会は岡山大学で行われ, 竹内和夫氏が運営委員長をつとめることが報告された。
- (5) 今年度中に会員名簿を改訂すべく, その体裁について話し合われた。
- (6) 各種報告
 - (a) 第 32 回国際アジア・北アフリカ研究会議について, 池上二良氏(学術会議東洋学研連委員)から報告があった。
 - (b) 九学会連合の活動状況について, 野元菊雄氏(同連合前理事)から報告があった。
 - (c) 前事務局長上野善道氏が海外出張のため昨 12 月で退任したあと, とりあえず昭和 62 年 3 月まで同代行をつとめていた菊地康人氏が, 4 月以後正式に事務局長となったことが報告された。任期は昭和 63 年 3 月まで。

〔別表 1〕 昭和 61 年度 日本言語学会決算

自 昭和 61 年 4 月 至 昭和 62 年 3 月

(単位 円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
B 会 費	7,714,919	1 刊 行 費	3,957,216
C 雜 誌 売 上	870,900	2 編 集 費	400,000
D 文 部 省 補 助 金	610,000	3 学 会 事 務 セ ン タ ー 委 託 費	1,472,951
E 預 金 利 息	17,718	4 大 会 関 係 費	736,928
F 雜 収 入	2,160	5 委 員 会 費	116,800
		6 常 任 委 員 会 費	100,330
		7 九 学 会 連 合 会 費	80,000
		8 C I P L 負 担 金	60,140
		9 選 挙 関 係 費	0
		10 通 信 費	80,190
		11 事 務 費	452,596
		12 設 備 費	194,835
		13 事 務 局 職 員 謝 金	600,000
		16 雜 費	2,160
収 入 合 計	9,215,697	支 出 合 計	8,254,146
A 前 期 繰 越	3,561,853	次 期 繰 越	4,523,404
計	12,777,550	計	12,777,550

◇ 支出内訳

1. 刊 行 費	第 90 号	2,361,408
	第 91 号	1,595,808

3. 学会事務センター委託費	事務委託費	1,212,359
	発送実費	260,592
4. 大会関係費	第92回	403,278
	第93回	333,650

[別表 2] 昭和62年度 日本言語学会予算

自 昭和62年4月 至 昭和63年3月

(単位 円)

収 入		支 出	
科 目	金 額	科 目	金 額
B 会 費	6,760,000	1 刊 行 費	5,000,000
C 雑 誌 売 上	800,000	2 編 集 費	400,000
D 文 部 省 補 助 金	610,000	3 学 会 事 務 セ ン タ ー 委 託 費	1,600,000
E 預 金 利 息	10,000	4 大 会 関 係 費	1,200,000
F 雑 収 入	0	5 委 員 会 費	150,000
		6 常 任 委 員 会 費	150,000
		7 九 学 会 連 合 会 費	80,000
		8 C I P L 負 担 金	60,000
		9 選 挙 関 係 費	800,000
		10 通 信 費	150,000
		11 事 務 費	700,000
		12 設 備 費	100,000
		13 事 務 局 職 員 謝 金	600,000
		14 名 簿 作 成 費	600,000
収 入 合 計	8,180,000	15 予 備 費	1,100,000
A 前 期 繰 越	4,523,404	16 雑 費	13,404
計	12,703,404	計	12,703,404

第94回大会

期 日 昭和62年6月6日(土)・7日(日)

会 場 日本女子大学

第1日(6月6日)

開会の辞 午後1時30分～

シンポジウム 「社会言語学の理論と方法——日本と欧米のアプローチ——」

報告者 杉 戸 清 樹 萩 野 綱 男

津 田 葵 日比谷 潤 子

コメンテーター 徳 川 宗 賢 国 広 哲 弥

コーディネーター 井 上 史 雄 井 出 祥 子

会員懇親会 午後6時～8時(レストランコッペリア)

第2日(6月7日)

研究発表 午前10時00分～12時10分

・A会場

(A1) 日本語とアメリカ英語に於ける出会いの挨拶表現について

鈴 木 亮 子

(A2) 日本と台湾における非言語伝達の比較対照

小野寺 典 子

(A3) 情報と伝達手段のメカニズムに関するモデル

東 山 安 子

(A4) 漢字の読み分けにあらわれる語基性/接辞性

吉 村 弓 子

・B会場

(B1) 音節構造変化と英語の音韻規則

松 森 晶 子

(B2) ライムに基づく音韻分析

田 端 敏 幸

(B3) 東京方言の複合語アクセント記述の体系

岡 田 英 俊

(B4) 音声ハイエラキーと附属モーラ(特に促音の場合)

村 田 忠 男

会員総会 午後1時10分～1時30分

研究発表 午後1時30分～4時50分

・ A会場

- (A 5) 投影のミメシス 高橋孝二
- (A 6) PRO in PP 漆原朗子
- (A 7) 英語の浮遊数量詞 (floating quantifiers) について
川島 祝
- (A 8) ヨーロッパ諸語における否定の表現 下宮忠雄
- (A 9) Scrambling Phenomena in NPs in Japanese 山崎和夫
- (A10) 日本語のアスペクトと敬語との関係について 近藤泰弘

・ B会場

- (B 5) フィンランド語の斜格主語・斜格目的語について 遠藤 史
- (B 6) 連続性(流れ)の観点からのロシア語接続詞 **чтобы** の分析
北上光志
- (B 7) ロシア語命令法における体の用法
—TEMA, PEMA の観点からみた分類— 福安佳子
- (B 8) サモア語の数詞について 塩谷 亨
- (B 9) シンハラ語の受身文について ディリーブ・チャンドララール
- (B10) ムエニ語動詞のアクセント 湯川恭敏

閉会の辞

◇ 物故会員

橋本萬太郎（昭和62年6月7日逝去）

◇ 受贈図書リスト（昭和62年1月28日～9月28日）

- 外国語教育紀要 No.16 (名古屋学院大学 1987)
- 外国文化研究 第5号
(東京外国語大学大学院外国語学研究科言語文化研究所 1987)
- 外国文学研究 73-76 (立命館大学外国語科連絡協議会共同研究室 1986-87)
- 価値の体系 (小島公一郎著) (南山大学 1987)
- 蒲生禮一先生記念論集 (蒲生先生記念刊行会 1987)
- カナノヒカリ ダイ 775-780 ゴウ (カナモジカイ 1987)
- 計量国語学 15巻8号, 16巻1-2号, 附録 (計量国語学会 1987)
- 言語の世界 Vol.4, No.1, 2 (言語研究学会 1986)
- 言語学研究 第5号 (京都大学文学部 1986)
- 研究紀要 第8巻 第1号 (鹿児島女子大学 1987)
- 研究報告集 8 (国立国語研究所 1987)
- 言語文化研究 XIII (大阪大学言語文化部 1987)
- 言語・文化・パーソナリティ (平林幹郎訳) (北星堂書店 1987)
- 言文だより No.4 (大阪大学言語文化部 1987)
- 国際音声言語医学会報告 第20回 (音声言語医学会 1987)
- 語学研究 Vol.1 No.1 (国際基督教大学 1987)
- 国語学 148-149 (国語学会 1987)
- 国立国語研究所年報 37 昭和60年度 (国立国語研究所 1986)
- ことばからみた心 (大津由起雄編) (東京大学出版会 1987)
- ことばを考える (愛知大学言語学談話会 1987)
- 史苑 第47巻 第1, 2号 (立教大学史学会 1987)

人文科学科紀要 第85輯 XXIII

- (東京大学教養学部人文科学科国文学・漢文学研究室 1987)
- 人文論叢 第12号 (東京工業大学人文社会群図書館 1986)
- 人類科学 (九学会連合 1986)
- 専修大学ラボラトリー論集 第15号 (専修大学LL研究室 1986)
- 朝鮮学報 第121-123輯 (朝鮮学会 1986-87)
- 調査報告集 8 (国立民族学博物館情報管理施設 1987)
- 通信 第57-58号 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 1987)
- 東京大学言語学論集 '86 (東京大学文学部言語学研究室 1986)
- 東京外国語大学論集 第37号 (東京外国語大学附属図書館 1987)
- 東方学 第73輯 (東方学会 1987)
- 東方学会報 No.52 (東方学会 1987)
- 独協大学外国語教育研究 第6号 (独協大学外国語教育研究所 1987)
- 東洋学文献類目 .1983-1984年度 (京都大学人文科学研究所 1986-87)
- 都大論究 第24号 (東京都立大学人文学部国語国文研究室 1987)
- 名古屋学院大学外国語教育紀要 No.15
(名古屋学院大学外国語教育センター 1986)
- 日本学士院紀要 第42巻 第1, 2号 (日本学士院 1987)
- 日本語の構造—英語との比較— (中島文夫著) (岩波書店 1987)
- 日本常民文化紀要 第13輯 (成城大学大学院文学研究科 1987)
- 日本民族学 169 (日本民族学会 1987)
- 日本学術会議月報 第28巻 1-9月号 (日本学術会議事務局 1987)
- 函館英文学 XXVI (函館英語英文学会 1987)
- 文学研究 第84輯 (九州大学文学部 1987)
- 法政大学文学部紀要 第32号 (法政大学文学部 1986)
- 民族語文 2 (中央民族学院 1987)
- みんぱく 2-9月号 (国立民族学博物館 1987)
- 森田潔研究論文抄録 (森田 利 1987)
- 山口国文 第10号 (山口大学人文学部国語国文学研究会 1987)

- 山口大学文学会志 第37卷 (山口大学附属図書館 1986)
- 山口大学教養部紀要 人文科学篇 第20卷 (山口大学教養部 1987)
- 山口女子大学研究業績一覽 (山口女子大学附属図書館 1987)
- 山口女子大学研究報告 第1, 2部 (山口女子大学附属図書館 1987)
- 立正大学 国語国文 第23号 (立正大学国語国文学会 1987)
- 論集 39 (神戸大学教養部 1987)
- ACTA ASIATICA 51, 52 (東方学会 1987)
- A Guide to the World's Languages vol.1 (Stanford Univ. Press 1987)
- Amsterdam Studies in the Theory and History of
Linguistic Science V Vol.11 (John Benjamins B. V. 1987)
- ArOr Volume 54, 3 (Academia Praha 1986)
- ВЕСТНИК ЛЕНИНГРАДСКОГО УНИВЕРСИТЕТА 2
(Ленинград 1987)
- BHUTAN: DEVELOPMENT AMID ENVIRONMENTAL AND
CULTURAL PRESERVATION
(東京外国語大学 アジア・アフリカ言語文化研究所 1987)
- Descriptive and Applied Linguistics Vol. XX (I. C. U. 1987)
- English Linguistics Vol. 3 (日本学術会議事務局 1986)
- Foundations of Cognitive Grammar (Stanford Univ. Press 1987)
- Language in America (Stanford Univ. Press 1987)
- LEXICON No.16 (岩崎研究会 1987)
- Lettera dall' Italia 3, 4 (Istituto della Enciclopedia Italiana 1987)
- LINGUISTIC RESEARCH No.5 (東京大学文学部英文学研究室 1987)
- Max Niemeyer Verlag I (Max Niemeyer Verlag 1987)
- NAŠE ŘEČ 5 1986-5, 1987-1, 2
(Academia nakladatelstvi Československe akademie věd 1986-87)
- PHILOLOGIA 19 (三重大学英語研究会 1987)
- Русская Литература 1986-5, 1987-1, 2
(Академия наук СССР 1986-87)

Русский Язык в Школе 1986-2, 1987-1, 2, 3, 4

(Просвещения 1986-87)

SLOVO A SLOVESNOST 1-3, XLVIII

(Československa Akademie Oriental Institute Čsav 1987)

SUDAN SAHEL STUDIES II

(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所 1987)

- ◇ 本誌は、文部省昭和 62 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の交付を得て刊行されたものである。